

東川小学校、地域交流センターの工事安全祈願祭



昨年12月9日、西4号北8番地の東川小学校新築移転建設予定地で、東川小学校・地域交流センター建設工事合同安全祈願祭が行われました。

きの(仮)地域交流センター(延べ約千670平方メートル)を建設します。天然木のぬくもりある梁(はり)、床、壁面構成を多用し、自然通風、自然光をたっぷり取り入れ、外断熱工法で省エネにも配慮した設計。地域交流センターは、住民センター、学童保育所、食育研修施設として、環境教育、食育教育の場としても活用する設計です。



「スピグラ」カメラを使って初の「大判写真教室」

昨年12月1、2の両日、写真の町実行委員会が主催して、スピグラ(スピード・グラフィックカメラ)(4×5判版)を使って初の写真撮影、暗室作業までの教室を開きました。

通称「スピグラ」は、主に業務用として活躍したレンズシャッター方式の箱型カメラ。2年前、倉石靉(かおる)さん(74)が茨城県銚田市在住、写真中央Ⅱが収集コレクションのカメラ33台、レズ、フィルムマガジンなど機材一式を町に寄贈。その機材を使って初の写真教室を開きました。2日間で約10人のカメラ愛好家が受講しました。倉石さんが来町して講師を務め、この日のために購入した貴重な白黒シートフィルムを使って、撮影現場、焼き付けまでの写真技術、スピグラ登場と発達・衰退の歴史などを伝授しました。



(この事業は宝くじ収益金からの支援を受けて実施しました。)

ケイコ・ボルジェソンさん、東中吹奏楽部と共演

ラトビアなど北欧の国々、東京などで幅広い活躍をしているジャズプレーヤー、ケイコ・ボルジェソンさんが昨年11月29日来町し、農村環境改善センターで東川中学校吹奏楽部の生徒と共に演じました。

業。その後ジャズピアニスト、歌手として活躍しています。

この日は中学生と「100万本のバラ」「明日に架ける橋」「あすという日」の3曲を共演。ラトビアの国際交流員として役場に勤務中のウナ・ヴォルコヴァさんとも一緒に歌って会場から大きな拍手を浴びました。

旭岳でクロスカントリースキーの本格教室



昨年12月1日、ひがしかわ観光協会が主催して旭岳温泉クロスカントリースキーコースで「クロスカントリースキー教室&チューンアップ講習会」を開きました。

昨年12月1日、ひがしかわ観光協会が主催して旭岳温泉クロスカントリースキーコースで「クロスカントリースキー教室&チューンアップ講習会」を開きました。

走り向上の基本は、適確な姿勢のとり方と体重移動。姿勢を覚えるためポールなし走行では「両手を大きさに思いつき大きく交互に振って」「大きく、大きく」。コツを覚えるのは早く、最初はぎこちなかった滑りもすぐに慣れ、片足だけスキーをつける片足走行、続いて両手のストックを同時について進むダブルポールへと練習が進むと見る間に成果が表れ、驚きの上達ぶり。

美しい風景づくり賞は今年3人

美しい東川の風景を守り育てる審議会(藤田裕三会長)は、本年度の「美しい風景づくり賞」に西町3丁目、江崎マサ子さん(71)、15区、園田千恵子さん(76)、25区、高橋忠さん(76)の3人の住宅を選定。昨年12月10日、役場で表彰式を行いました。

表彰状と記念プレート、副賞に東川産米「ゆめぴりか」を贈りました。



講が出ていることを考慮し、住宅部門のガーデニングだけが対象となりました。松岡町長は「住民の皆さんが町づくりに参加してくれている証として花のある町になっている。東川は美しい、と評されるように取り組んでくれることはありがたい」と取り組みを称えました。

秋の図書まつり恒例の古本リサイクル大盛況



昨年11月25日、文化交流館で秋の図書まつりを開きました。

恒例の古本リサイクル市には約20人が開館前から列を作りました。おもしろそうな本を手に入れようと大賑わい。延べ392冊が皆さんの手に渡りました。